

感染症 Q&A 予防に関する

追補版



東京都薬剤師会

はじめに

2017年6月に東京都薬剤師会では、急速な国際交流の活発化、限局的な新興・再興感染症の出現に鑑み、感染症の急速な拡散による危険な状況に都民がさらされてしまった時の備えとして薬剤師のバイブル作成が必須であると考え、「感染症予防に関するQ&A」を作成しました。奇しくも2019年、全世界に「新型コロナウイルス感染症」が発生し、2023年まで東京もその禍中にありました。このQ&Aは、感染症に対応する基礎知識・消毒法など、新型コロナウイルスに対しても有益なツールとして活用できるものでした。新たな感染症の出現により、その対策に苦慮する中、この冊子は多くの場面で活動の一助となったと聞いており、作成した当時の対応が、その後を見据えたタイムリーなものであったと感じております。

今般、「感染症予防に関するQ&A」作成時以降の感染症を取り巻く様々な状況の変化に対応するため、コロナ禍の際に新たに必要とされたワクチンに対する知識、現代日本の社会問題となっている抗菌薬の不適切使用による薬剤耐性菌の出現や患者数が増加している性感染症についても更なる知識の習得が必須と考え、「感染症予防に関するQ&A 追補版」として新たな冊子を作成する運びとなりました。

AMR対策については不要と考えられる抗菌薬等への疑義照会（処方介入）等、ワクチンについては接種することの意義等、性感染症についてはそれぞれの感染症に関する知識等を解説しております。

この追補版と本編との活用によって、感染症に罹患した方への対応はもちろん、家族や職場の同僚等に対するアドバイス、またこのところ頻発している豪雨災害やその他の災害時における避難所等での感染対策、さらに平時における抗菌薬の汎用から起こり得る耐性菌に関するAMR出現防止にも役立つと確信しております。令和4年12月に改正された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく第二種協定指定医療機関として薬局も位置づけられ、感染症への対応を、責任をもって担う薬局の薬剤師として、都民からの質問に答えうる知識習得への一助となれば幸いです。

都民の健康な生活を確保するためにも、感染症を防ぎ、また感染してしまった方々に的確な医療を提供するため、適切な指導・助言が必要とされます。

末筆ではありますが、本冊子の企画・発行にご尽力された東京都薬剤師会 公衆衛生委員会の皆様に御礼と感謝を申し上げます。

令和6年10月

公益社団法人 東京都薬剤師会
会長 高橋正夫

目次

I. AMR対策

Q 1. 薬剤耐性 (AMR) について説明できますか？	4
Q 2. 薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランについて説明できますか？	6
Q 3. AMR対策で薬剤師ができることを説明できますか？	8
Q 4. 抗菌薬を使用することのメリット・デメリットを説明できますか？	10
Q 5. 薬剤耐性菌に対する消毒薬の適切な使用方法について説明できますか？	11
Topics ワンヘルス	12
Topics サイレント・パンデミック	13
Q 6. 多剤耐性結核菌について説明できますか？	14
Topics DOTS (Directly Observed Treatment Short-course)	15

II. ワクチン

Q 1. ワクチンの効果と課題について説明できますか？	16
Q 2. 複数のワクチンを接種する場合の接種間隔について説明できますか？	18
Q 3. ワクチンの副反応について正しい情報を説明できますか？	20
Q 4. 妊娠中や授乳中にワクチン接種する場合の注意すべき事項等を説明できますか？	21
Topics RSワクチンの妊婦への接種～母子免疫による抗体のプレゼント～	21
Q 5. 海外渡航時に接種が規定されているワクチンの説明ができますか？	22
Q 6. 麻しん・風しんワクチンについて説明できますか？	23
Q 7. 破傷風ワクチンについて説明できますか？	24
Q 8. 帯状疱疹ワクチンについて説明できますか？	25
Q 9. 肺炎球菌ワクチンについて説明できますか？	26
Q 10. HPVワクチンについて説明できますか？	28
Q 11. インフルエンザワクチンについて説明できますか？	30
Q 12. 新型コロナウイルスワクチンについて説明できますか？	32

Ⅲ. 性感染症

Q 1. 性感染症罹患率やその動向について説明できますか？	34
Q 2. プレコンセプションケアについて説明できますか？	36
Q 3. 性感染症の母子感染について説明できますか？	38
Q 4. 尖圭コンジローマについて説明できますか？	39
Q 5. 淋菌感染症について説明できますか？	39
Q 6. 梅毒について説明できますか？	40
Q 7. トリコモナス症について説明できますか？	42
Q 8. 膣炎について説明できますか？	42
Q 9. 膣カンジダ症について説明できますか？	43
Topics 多剤耐性の真菌カンジダ・アウリス	43
Q10. 性器ヘルペス感染症について説明できますか？	44
Q11. クラミジア感染症について説明できますか？	45
Q12. HIV感染症・AIDSについて説明できますか？	46

発刊にあたって

本書は、2017年6月に発行した「感染症予防に関するQ&A」の追補版として、AMR対策、ワクチン、東京都で問題となっている梅毒をはじめとする性感染症をテーマに取り上げました。

資料は、リーフレット等の見本を小さく掲載しています。必要に応じてURL（二次元バーコード）*からダウンロードできるよう編集しました。

薬剤師として日々の業務の中で、感染症予防対策にどのように活動しているか、抗菌薬が適切に使用されているか、感染症罹患者や家族・パートナー等への対応や接し方、ワクチン接種に対する適切なアドバイス等を取り上げ、薬剤師に問いかける『Q ○○について説明できますか？』に対し回答する方式を採用しました。ご自身の知識の再確認や習得の一助となれば幸いです。

*本書に掲載されているURL（二次元バーコード）は、本書発行後に発行元で変更されている場合があります。

公益社団法人東京都薬剤師会 公衆衛生委員会

I. AMR 対策

Q1 薬剤耐性 (AMR) について説明できますか？

A1

薬剤耐性 (Antimicrobial Resistance : AMR) は、微生物 (細菌、真菌、ウイルス、寄生虫等) が、抗微生物薬 (例えば、抗菌薬、抗真菌剤、抗ウイルス剤、抗マラリア薬、駆虫薬等) に曝された時に、抗微生物薬に対抗して抵抗性をもつように変化することで起こります。つまり、菌に抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることです。抗菌薬が効かない薬剤耐性菌が増えると、これまでは適切に行うことで治療できたはずの感染症の治療が難しくなって重症化しやすくなり、死亡に至る危険性が高まります。

抗菌薬が世の中に普及し始めた1940年代から薬剤耐性をもつ細菌が次々と見つかり、その後急速に拡散していきます。これには、抗菌薬の使用が大きく関わっているといわれています。抗菌薬に感受性のある細菌がいなくなることで、もともと薬剤耐性であった細菌が選択されてしまったり、抗菌薬への曝露そのものから細菌が変化して耐性化したりするからです。

1993年には、カルバペネム系抗菌薬に対しても耐性をもつカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (Carbapenem resistant enterobacteriaceae : CRE) が発見されました。CREの中には、ほとんどの抗菌薬に耐性をもつ細菌も含まれており、このような細菌に感染した場合、抗菌薬での感染症の治療は大変困難になります。今なおCREは世界に拡大しており、世界的なAMR対策が行われるきっかけのひとつとなりました。これら薬剤耐性菌をまん延させないよう、感染対策や抗菌薬の適正使用を行っていく必要があります。

【主な薬剤耐性菌】

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)
- ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)
- 基質特異性拡張型βラクタマーゼ (ESBL) 産生菌
- AmpC産生菌
- 多剤耐性緑膿菌 (MDRP)

<p>参考資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省検疫所FORTH：抗微生物薬耐性について（ファクトシート） https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/2017/11211141.html 2024.2.14閲覧 AMR臨床リファレンスセンター：薬剤耐性菌について https://amr.ncgm.go.jp/medics/2-1-1.html 2024.2.12閲覧
<p>参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> 内閣感染症危機管理統括庁：薬物耐性（AMR）って何だろう？ https://www.caicm.go.jp/jp/seisaku/infection/dL_file/2023/1101JP_AMRposter.pdf 2024.2.14閲覧   <ul style="list-style-type: none"> 内閣感染症危機管理統括庁：減らそう薬剤耐性 https://www.caicm.go.jp/jp/seisaku/infection/activities/231030_AMR_A5.pdf 2024.2.14閲覧  

I. AMR対策

II. ワクチン

III. 性感染症